

ここに、○○○町町長○○○氏の葬儀に臨み、ありし日の面影をしのび、万感こもごも胸に迫るものあることを覚え、ただ絶句するのみであります。

私たち町民は、あたかも一家の長を失ったような、限りなく深い悲哀を覚えると共に、突然の御逝去が嘘のように思われてならないのです。

あなたは公平無私、つねに温顔をたたえておられました。その内には、火ごとき情熱と、千万人といえどもわれ行かんという、正義感をようしており、敢然として事にあたりました。

故町長は、御就任以来、文字どおり寝食を忘れて○○○町発展のため尽力されました。その功績は、いままさら私が申すまでもありません。お名前と業績は、町政史上に永遠に燦然と輝きつづけることでありましょう。

いま、私どもは巨大な支柱を失い茫然としております。しかし悲痛にひたっているばかりであってはなりません。私たちは、あなたの心を心とし、町のため、社会のため、微力ながら全力を尽すことを、ここにお誓い申しあげるものであります。

御家族の心中は、察するにあまりあるものがございます。どうか、この悲しみを乗り越えていただきたい、と念ずるものであります。今は冥界への旅に発たれた○○○さん、これからは御遺族を、町民を、彼岸より優しくお守りください。

それではお別れでございます。私たち町民は、ここに故町長の遺業をさらに進展させることを再びお誓いし、弔辞にかえさせていただく次第でございます。

平成○年○月○日

○○○○町議会

議長 ○○○○